

家保通信

Vol. 36 No. 3 6月号
東京都家畜保健衛生所



令和4年5月30日

かほクイズ

平成30年8月以降、アジアでアフリカ豚熱 (ASF) の発生が確認されている国は何か国でしょう？

①5 ②10 ③15 ④20

答えは裏面



定期報告 (家きん) の提出期限間近です！

家きん飼養者の提出期限は令和4年6月15日です。期限内での提出をお願いします。用紙がない場合はHP (以下URL) から印刷するか、当所にご連絡ください。 (<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/animal/houkoku/>)



豚熱・高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) の発生状況

4月下旬以降の国内の豚熱、HPAIの発生状況は下表のとおりです。野鳥のHPAI事例は、106 (5/30現在) と昨シーズンより多く、カラスから多数検出されています。

また、5/26韓国の養豚場で7か月ぶりにアフリカ豚熱の発生がありました。

各事例の詳細は、農水省HP、野鳥事例は、環境省HPをご確認ください。

飼養衛生管理基準を日々チェックし、対策にスキのないようお願いします！

疾病	事例	確定日	飼養場所	飼養頭数	飼養形態、畜種
豚熱	80	4/22	群馬県太田市	約3,000頭	一貫経営
	81	5/10	群馬県桐生市	約5,500頭	肥育経営
HPAI	23	4/26	北海道釧路市	約100羽	だちょう (エミュー)
	24	5/12	岩手県一関市	約10羽	だちょう (エミュー)
	25	5/14	北海道網走市	約750羽	採卵鶏 (平飼い)



山口県の感染イノシシ、長距離伝播か

今年3月に山口県で確認された野生イノシシの豚熱ウイルスは、遺伝子解析により、約500km離れた三重県 (令和3年5月・紀伊半島東部) のイノシシ由来の可能性が高いと判明しました。この結果から長距離伝播の可能性が示唆され、人 (狩猟者など) ・車両などを介して遠隔地にウイルスが運ばれた可能性が考えられます。また、5/20に初めて島根県 (吉賀町) で野生イノシシの陽性が確認され、4月に広島県で確認された地点から約15kmの距離でした。

近隣に陽性イノシシがないからと安心できる状況ではなく、飼育環境に病原体を持ち込まない措置は確実に行ってください。





昆虫(ハエ、蚊、ダニなど)の防除対策をしましょう

昆虫が活発になる季節となりました。吸血する昆虫には生産性を低下させるだけでなく、病原体の伝播リスクもあります。中には人にも感染する疾病もあります。また、ハエの発生は近隣の苦情にもつながります。対策は忘れずに！

種類	感染する家畜	代表的な病気 (※)人獣共通感染症	主な発生場所
サシバエ	牛 豚	牛伝染性リンパ腫 豚繁殖・呼吸障害症候群	家畜の糞便・堆肥などに産卵
アブ	牛	牛伝染性リンパ腫	草葉の陰に産卵
蚊	牛 馬 豚など 牛 馬	流行性脳炎(日本脳炎)(※) アカバネ病 ウエストナイルウイルス感染症(※)	汚れた水面(水たまり等)に産卵。 幼虫、蛹は水中で生活
ヌカカ	牛 鶏	アカバネ病、バクテリア病、アノウイルス感染症 ロイコチトゾーン症	家畜の糞便や湿地(水田の泥等)などに産卵、発生
ダニ	牛、馬	ピロプラズマ症	宿主吸血後、地上に落下し産卵。孵化後、宿主寄生まで草むらで待機

家畜での報告はありませんが、ウイルスを持ったダニに咬まれた人が感染する**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**があります。ダニが生息するような場所の作業は、咬まれない対策を！



○昆虫の発育ステージごとの対策を総合的に取り組むと効果的です。

- ・発生や生息場所をなくす(清掃、除草、除糞、水たまりをなくす等)
- ・殺虫剤の使用やトラップ、防虫ネットの設置 など



熱暑対策始めましたか？

梅雨の晴れ間や梅雨明け後は気温が急上昇する日もあり、家畜や人も、まだ、暑さに慣れる前なので、熱中症に注意が必要です。

5月から全国で「**熱中症警戒アラート(※)**」の運用が始まりました。5月末には都内で真夏日(30℃以上)も観測されています。人の熱中症対策や畜舎の暑熱対策に活用してはいかがでしょうか。



(※)暑さ指数の予測値を使って、特に暑くなると予測された日の当日や前日に、環境省と気象庁が注意を呼びかける情報。ニュースや天気予報、メール配信サービスなどで知ることができます。(環境省HP：<https://www.wbgt.env.go.jp/alert.php>)


クイズの答え ③ ASFは、アジア地域では平成30年8月に中国で発生が確認されてから、感染が拡大しており、現在までに22か国中15か国での発生が確認されています(R4.5末時点)。日本での発生はありませんが、今後も様々なルートで国内への侵入が危惧されます。引き続き飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。ASFの発生状況の詳細については下記URL、QRコードをご確認ください。(農水省HP：ASFについて <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>)



(QRコード)

発行日 令和4年5月30日

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

編集発行  東京都家畜保健衛生所

TEL :042-588-7171

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

携帯：090-6941-4315(緊急用)

